

International Exchange Calendar

Academic Year 2026



知に足つけて、どこまでも。
酪農学園大学
RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY



International Exchange Calendar

Academic Year 2026

2026年度 国際交流カレンダー

目次

- YOUは何しに海外へ?～目的を明確に!自分に合った留学を! …… p3
- 海外留学の手引き …… p4
- 留学で取れる単位・留学期間中の授業料 …… p5
- カナダ・アルバータ大学夏季/春季研修プログラム(短期) p6
- 海外農業研修サポートプログラム …… p8
- 大学院生留学サポートプログラム …… p10
- アメリカ・フィンドレー大学
(ベケット奨学金派遣留学生/長期) …… p12
- アメリカ・フィンドレー大学
(ベーシック・アニマルハンドリングプログラム/短期) …… p14
- タイ・カセサート大学獣医学部単位互換プログラム、
獣医学部短期研修プログラム …… p16
- 海外農業研修・インターンシップ …… p18
- 協定機関が実施するプログラム
(カナダ・アルバータ大学) …… p20
- JICA海外協力隊 …… p22
- TOEICを受けよう! …… p24
- 酪農学園大学の英文表記 …… p26
- 学術交流協定機関一覧 …… p28
- 海外渡航における注意喚起(安全対策・感染症対策) …… p30,31



大学生の皆さん、**聖書**は世界で最も読まれている古典であり、歴史、文化、哲学の基礎となっています。単なる宗教書ではなく、人生についての深い問いへの答えや、普遍的な真理が詰まった知恵の宝庫です。実は人間関係や困難な状況を乗り越える上で役立つ実践的なフレーズが満載なので、忙しい学生生活の中で、これらの言葉は心の支えとなり、前向きに生きるヒントを与えてくれるかもしれません。そんなフレーズを、このカレンダーの各月コラム欄に一つずつ載せました。ぜひ、味わってください。なお、日本語は一般財団法人日本聖書協会の『聖書新共同訳』より、英語はNew Revised Standard Version Updated Edition (NRSVUE)より抜粋しています。

YOUは何しに海外へ?



目的を明確に!
自分に合った留学を!

「海外で学びたい」という熱意を大切にしながら、更に考えを深めていきましょう。海外で学ぶ方法も短期研修から長期留学、また一言で留学と言っても、語学留学、農業研修、オンライン留学などいろいろなタイプがあります。

STEP 1

具体的な 目標を立てる

日本とは言語や文化の異なる国で生活しながら、学業面でも一定の成果を上げていくためには大きな努力が必要です。留学先で辛くなった時に、「この目標を達成する」という強い気持ちが心の支えになります。たとえば、「語学力をアップしたい」という目的の場合、「TOEICで〇〇〇点をとる」「帰国後の就職のため、この分野の語学力を身につける」といった、なるべく具体的な目標を立てると効果的です。

STEP 2

留学の成果を どう活かすか

留学はあくまで、人生を豊かにするための手段であって、それ自体が目的ではありません。帰国後に留学の成果をどう活かしていきたいか、自分の人生プランの中に組み込んで考えましょう。

〈例〉

在学中のプランを考えてみましょう。

学年	前学期	夏休み	後学期	春休み
1	TOEIC400	(短期研修/学外実習)	語学学習	(短期研修/学外実習)
2	留学準備	(短期研修/学外実習)	TOEIC500目標	出発
休学	留学/海外農業研修			
3	TOEIC600目標	(短期研修/学外実習)	語学学習	就活
4	就活/卒論/TOEIC650目標	卒論	卒論	卒業
就職				

STEP 3

再チェック!!

- 何のための留学か
- 海外でなくてはいけないのか
- 語学力は
- 留学にふさわしい時期だろうか
- 帰国後どう活かすのか
- 学業や就活に支障は出ないのか

※本学では、日本外務省の危険レベルおよび感染症危険レベル2以上の国・地域への渡航を原則禁止しています。



(2026年3月現在)

海外留学
について

社会連携課にいつでもご相談下さい
email : rg-iad@rakuno.ac.jp



社会連携課
HP

※派遣先機関および本学の状況等によりプログラムの中止や内容を変更する場合があります。

海外留学の手引き

計画

情報収集

決定・申込

書類提出

留学準備

出発

帰国後

1. 留学プランを考える

留学をしたいと思ったら、どこで何をしたいのか、目的を明確にしましょう

- どのくらいの期間留学したいか
- 何年生の時に留学したいか
- どの国へ留学したいか
- どのような内容で留学したいか
- どのくらいの費用を用意できるか

2. 情報を収集する

留学の目的や目標が達成できるようなプランを探します。大学だけでなく、留学情報を提供している機関などからも情報を集めましょう。また、渡航先の国・地域の安全情報を調べましょう。(本学では外務省が定める危険レベル及び感染症危険レベル2以上の国・地域への渡航を原則禁止しています。)留学先を決める前に、社会連携課と担当教員に相談しましょう。

3. 留学先の決定・申込

留学先が決まったら、手続きを始めます。留学先によって手続きが違いますので、よく確認してください。

～社会連携課のプログラムで渡航する場合～

- (1) プログラム受付期間に申し込む (TOEICのスコアが必要)
- (2) 選考があるプログラムの場合は、面接を受ける
- (3) 派遣学生に選ばれたら、大学の指示により手続きを進める

4. 大学への提出書類

休学願：休学が必要な場合 (学生支援課)

留学願：半年以上海外の大学に留学する場合 (社会連携課)

渡航届：海外に渡航する場合 (留学願対象者除く) (社会連携課)

5. 留学準備

実際に留学するまでにさまざまな準備が必要です。留学がより良いものになるよう、事前準備も大切です。

- 語学力向上 (留学先によっては語学条件がある。現地でスムーズに生活が始められる。)
- ビザ等の手続き
- 海外旅行保険加入
- たびレジ登録 (P30右下参照)
(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp>)
- 現地の情報や安全対策の確認 (P30左下参照)
(外務省HP：<https://www.anzen.mofa.go.jp/>)

6. 出発

留学中はトラブルに巻き込まれることがないよう、常に危機管理意識をもって行動しましょう。自身の留学目的を達成できるよう、さまざまなことを学び、経験しましょう。

7. 帰国後

帰国後も、留学の成果を活かせるように考えましょう。後輩たちに、留学の経験を報告することも大事な役目です。

留学で取れる 単位



留学中に修得した授業科目並びに単位の認定については、学群教授会の議を経て、学長が決定します。これによって認定された単位数は、60単位を超えない範囲で本学で修得したものととなります。

(学生生活の手引き「学生の留学に関する規程第11条」参照)

獣医学類5年生対象のカセサート大学単位互換プログラム(p16左)では、10単位が修得できます。

【参加型伴侶動物臨床実習D(検査・馬診療)】	3単位
【参加型伴侶動物臨床実習E(学外臨床実習・Shelter)】	3単位
【参加型産業動物臨床実習(学内・学外)】	3単位
専修教育の各分野の演習IV	1単位

その他の単位認定プログラム

・アルバータ大学夏季・春季研修(P6)など 海外自然環境実習	1単位
・カセサート大学短期研修 学外実習A(伴侶動物)または学外実習B(生産動物)(獣医学類4~5年)(予定)	1単位

※必ず事前に担当教員に相談すること(シラバス参照)

留学期間中の 授業料

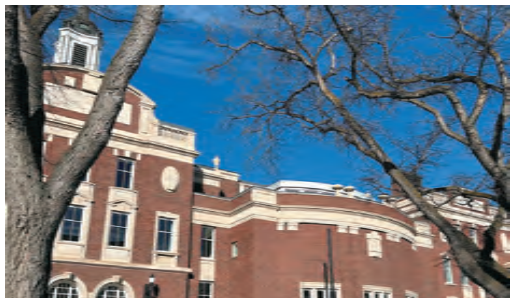


学業および人物に優れている者が外国の協定大学等に1学期または1年留学する場合の留学期間中の授業料免除の取り扱いについては、次のとおりです。

- 1 全額免除 …… 留学前の通算GPAが3.1以上で人物に優れている者。
- 2 3分の2免除 …… 留学前の通算GPAが2.8以上3.1未満で人物に優れている者。
- 3 半額免除 …… 留学前の通算GPAが2.5以上2.8未満で人物に優れている者。

協定機関以外への留学は、この半額を免除します。
(学生生活の手引き「学生の留学に関する規程」「留学生授業料免除規程」参照)

※免除に係る書類の提出締切は前学期では4月30日まで、後学期では10月15日までです。



佐藤貢・雪印乳業-酪農学園・アルバータ大学奨学金

カナダ・アルバータ大学 夏季/春季研修プログラム (短期)

プログラム内容

渡航先：カナダ・アルバータ州エドモントン
 渡航期間：9月・3月ごろ（それぞれ4週間）
 定員：夏季・春季それぞれ5名程度
 費用：約80万円（航空券代、授業料、ホームステイ費用、保険代込）
 ※レートや時期により変動あり

応募締切：夏季：5月（2025年度参考） 春季：12月（2025年度参考）
 選考日：夏季：5月（2025年度参考） 春季：12月（2025年度参考）
 提出書類：申請書・誓約書・推薦書・TOEICスコア
 ※ TOEIC-IP試験のスコア及び面接等の内容を基に、毎年5名の学生に北海道アルバータ酪農科学技術交流協会より奨学金 **20万円** を給付します。

アルバータ大学



1908年創立の州立総合大学。学生数は約46,000人。世界中から積極的に留学生を受け入れている名門校。

体験談 2024年度春季派遣 環境共生学類4年 伏見 琴音さん

私がこのプログラムに参加した理由は、カナダでの生活を通してコミュニケーション能力を高め、自分で考え行動する力を身につけたいと思ったからです。午前中は、カナダの食文化や先住民の歴史、SDGsなどをテーマに、すべて英語で授業を受けました。授業中は、プレゼンテーションやロールプレイなどの発表の機会が多く、実践的に英語を使う場面が多くありました。午後には、博物館や美術館の見学、アイスホッケーの試合観戦やカーリング体験などを行いました。ホームステイでは、最初は不安や緊張が大きく、ホストファミリーとのコミュニケーションをとるのに苦労しました。しかし、少し勇気を出して話しかけることで、楽しく会話をしたり、休日には一緒に出掛けたりするなど、とても充実した生活を送ることができました。この経験を通して、異文化に触れる楽しさ、コミュニケーションの大切さを学びました。今後は、カナダに限らず様々な国を訪れ、多様な文化を実際に感じてみたいと思いました。

April | 4月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
	入学式	履修登録期間→			
12	13	14	15	16	17	18
前学期授業開始						TOEIC-IP 試験 (会場)
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29 昭和の日	30	 ★SDGsは、2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です。各月カレンダー下部から、17のゴールを英語でも勉強してみましょう！	
			授業実施日			



「求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。」(マタイによる福音書 7:7)
 “Ask, and it will be given to you; search, and you will find; knock, and the door will be opened for you.” (Matthew 7:7)



[Goal 1] No Poverty 「貧困をなくそう」
 End poverty in all its forms everywhere
 あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ



[Goal 2] Zero Hunger 「飢餓をゼロに」
 End hunger, achieve food security and improved nutrition and promote sustainable agriculture
 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する



佐藤貢・雪印乳業・酪農学園・アルバータ大学奨学金

海外農業研修 サポートプログラム

協定機関、受入農家、農業研修を紹介する外部機関を通じ、カナダ国内での農業研修が認められた学生に対して、**20万円**を支援します。

プログラム内容

渡 航 先：カナダ

渡航期間：要相談（28日以上推奨）

※ 2027年3月までに出発すること

定 員：1名

費 用：渡航先・期間による

応募締切：5月（2025年度参考）

選 考 日：5月（2025年度参考）

提出書類：申請書、誓約書、推薦書、TOEICスコア

体験談 2024年度派遣 獣医学群 獣医学類6年 とりぶち 鳥淵 かずさ 一彩さん

私は2025年2月末から4月初旬にかけて、約6週間、カナダ・アルバータ州の酪農家で研修を行いました。乳牛の飼養管理を学び日本との違いを理解すること、また現地での生活を通して英語力や異文化理解を深めることを目的として参加しました。滞在中は農場作業に従事したほか、獣医師の往診や繁殖検診に同行し、休日にはアイスホッケー観戦や地域のパーティーにも参加するなど、現地の文化にも触れることができました。受け入れ先は中規模農場で、ロボット搾乳や自動哺乳ロボットによるデータ管理、疾病プロトコルの掲示など、基本的な飼養管理が徹底されている点が印象的でした。この経験を通じて、飼養管理の重要性や酪農家の視点、アルバータ州の酪農の特色を学ぶとともに、多くの方々の支えにより、充実した時間を過ごすことができました。今回得た経験を今後を活かし、視野の広い獣医師を目指していきたいと考えています。本プログラムは、カナダの酪農や海外交流に関心のある方にぜひ参加を勧めたい内容です。

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1	2
3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 振替休日	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	 <p>「隣人を自分のように愛しなさい。」(マルコによる福音書 12:31) "... You shall love your neighbor as yourself. ..." (Mark 12:31)</p>					



[Goal 3] Good Health and Well-Being 「すべての人に健康と福祉を」
 Ensure healthy lives and promote well-being for all at all ages
 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



[Goal 4] Quality Education 「質の高い教育をみんなに」
 Ensure inclusive and equitable quality education and promote lifelong learning opportunities for all
 すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する



佐藤貢・雪印乳業・酪農学園・アルバータ大学奨学金

大学院生留学 サポートプログラム

北米地域の協定機関に受け入れを認められた短期留学や研究調査を希望する大学院生に対して、**30万円**（生活費20万円、研究費10万円）を支援します。

プログラム内容

渡航先：北米地域の協定機関

渡航期間：指導教官と相談

※2027年3月までに出発すること

定員：1名

応募締切：5月（2025年度参考）

選考日：5月（2025年度参考）

提出書類：申請書、誓約書、推薦書、成績証明書、TOEFL/TOEICスコア、留学先受入許可証等

※P28学術交流協定機関一覧「北米地域」参照

体験談 2025年度派遣 酪農学研究科 修士課程2年 くにしま 梨夢さん

約6週間、カナダのサスカチュワン大学へ留学し、乳牛の栄養管理をはじめとした家畜の飼養について幅広く学ばせていただきました。現地では、学部生の方々と一緒に家畜の栄養学に関する授業を聴講させていただいたほか、自らコネクションを広げ、複数の研究を見学・補助させていただきました。中でも、子牛の給餌試験に立ち会った際は、日本で自分が行っている臨床観察や採材の方法と似ていたため、共通点や研究手法の違いを比較しながら学ぶことができました。英語での授業や異なる研究環境に触れる中で、言語や文化の壁を越えて協働する難しさと面白さを実感しました。常に新鮮で、毎秒が有意義な時間でした。研究留学ではありませんでしたが、研究そのものに加え、今後の英語力向上への大きなモチベーションにもなりました。プログラム参加にあたり、国内外を問わず支えてくださった多くの方々に感謝申し上げます。

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				



「狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々としていて、そこから入るものが多い。」(マタイによる福音書7:13)

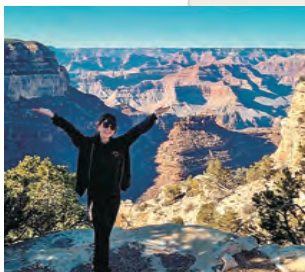
“Enter through the narrow gate, for the gate is wide and the road is easy that leads to destruction, and there are many who take it.”
(Matthew 7:13)



[Goal 5] Gender Equality 「ジェンダー平等を実現しよう」
Achieve gender equality and empower all women and girls
ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワーメントを図る



[Goal 6] Clean Water and Sanitation 「安全な水とトイレを世界中に」
Ensure availability and sustainable management of water and sanitation for all
すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する



体験談 2025～2026年度派遣 農食環境学群 循環農学類 4年 くらだ かな 黒田 佳奈さん

私は現在、フィンドレー大学の集中英語コースに在籍し、英語力の向上を目標に学修に励んでいます。最初は、友人との会話も思うように進まず、相手の理解力に頼ってしまう場面が多くありました。しかし、現地学生と過ごす時間を多くとれる環境づくりを意識したことで、徐々に自分の考えや気持ちを伝えられるようになりました。また、友人や先生方に恵まれ、多くの経験をさせていただいています。多様な価値観に触れる経験は、私自身の人生観や将来について見つめ直す大きなきっかけとなりました。特に友人のご自宅に招待いただいた際には、食事や文化についても学ぶことができ、とても良い機会になりました。春学期からは秋学期の成果が認められ、より高いレベルの授業を履修することになり、学習環境も大きく変化します。この貴重な経験に感謝しつつ、今後も目標達成に向けて日々努力を重ねていきたいと考えています。

アメリカ・フィンドレー大学 ベケット奨学金派遣留学生(長期)

学部コース/大学院コース/集中英語コース

ベケット奨学生は、現地での秋学期(8～12月)と春学期(1～5月)の授業料が免除になります。「学部」、「大学院」、「集中英語」からコースを選択して応募してください。

※授業履修には、一定の英語能力が必要です

学部コース：TOEFL iBT 61点以上

大学院コース：TOEFL iBT 79点以上

※TOEFL・iBTの受験については、ETS Japanのサイトからお申し込みください。

現地授業料が1年間免除！万全の受け入れ態勢！

プログラム内容

渡航先：アメリカ・オハイオ州フィンドレー市

渡航期間：8月～翌年5月

定員：1名

費用：航空券代、海外旅行保険代、学生ビザ申請料、生活費等

応募締切：1月(2025年度参考)

選考日：1月(2025年度参考)

提出書類：申請書、留学目的書、誓約書、推薦書、TOEICスコア、パスポートのコピー

フィンドレー大学



University of Findlay

Meaningful Lives. Productive Careers.

1882年創立の私立大学。学生数は約5,000人。馬術部が有名で全米NO.1の実力を誇り、キャンパス内では数百頭の馬を飼育している。

July | 7月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1 後学期チューター募集開始	2	3	4 白樺祭
5→	6	7	8	9	10	11 開学記念日 TOEIC-IP 試験(会場)
12	13	14	15	16	17	18
19	20 海の日 授業実施日	21	22	23	24	25
26	27	28	29 前学期授業終了	30 前学期定期試験期間	31 後学期チューター募集締切	(8月5日まで)



「人にしてもらいたいと思うことは何でも、あなたがたも人にしなさい。」(マタイによる福音書 7:12)
 "In everything do to others as you would have them do to you, ..." (Matthew 7:12)



[Goal 7] Affordable and Clean Energy
 「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」
 Ensure access to affordable, reliable, sustainable and modern energy

for all
 すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



アメリカ・フィンドレー大学 ベーシック・アニマルハンドリング プログラム(短期)

フィンドレー大学で行う短期留学プログラムで、現地の学生とペアになり、厩舎で馬の給餌や世話をしています。獣医としての馬の扱い方(体温測定、バンデージ)、畜産動物へのワクチン投与、去勢手術、除角、耳標付けなどさまざまな実習ができます。アクティビティも多数予定!

プログラム内容

渡航先: アメリカ・オハイオ州フィンドレー市
 渡航期間: 3月(3週間)
 定員: 5名程度
 プログラム費: USD1,450
 費用: 航空券代、海外旅行保険代、ESTA申請料等
 応募締切: 10月(2025年度参考)
 選考日: 10月(2025年度参考)
 提出書類: 申請書、誓約書、推薦書、TOEICスコア

体験談 2024年度派遣 獣医学群獣医学類5年 はやし まな 林 真那さん

学内農場の馬・豚・牛・緬山羊、学外の動物園・動物愛護センター・酪農場・動物病院など様々な動物に触れながら学びました。全体を通して、高校の畜産学の授業で習ったこと、大学の獣医学の授業で習ったことと結びつけた深い学びができました。土地の広さ、気温、湿度、飼料、衛生管理、社会環境など様々な条件が違うことを肌で体感し、その結果として現れる動物の体格、性質、畜産物としての品質、人間への影響の違いを分析できました。ただ、動物に接する人々の真剣なまなざしとあふれる笑顔は、共通するものがありました。海外を実際に見ることで、日本との違い、長所と短所、改善しようとしている点、人々の努力や工夫が見えました。そこに日本の現状を照らし合わせ、長所を世界に広め短所を改善して自国をもっと発展させたいと思っています。休みの日にはフィンドレー大学生たちと遊びに行ったりホームステイをしたりして、仲の良い友達もできました!

August | 8月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
						1
					(前学期定期試験期間)	
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11 山の日	12	13	14	15
		夏季休業期間				
16	17	18	19	20	21	22
	前学期集中授業期間					
23	24	25	26	27	28	29
		前学期成績閲覧開始				
30	31					
		(9月4日まで) (9月27日まで)				



「わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。希望はわたしたちを欺くことはありません。」(ローマの信徒への手紙5:3-5)

“... we also boast in our afflictions, knowing that affliction produces endurance, and endurance produces character, and character produces hope, and hope does not put us to shame, ...” (Romans 5:3-5)



[Goal 8] Decent Work and Economic Growth [働きがいも経済成長も]
Promote sustained, inclusive and sustainable economic growth, full and productive employment and decent work for all

すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用および
ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する

タイ・カセサート大学

獣医学部単位互換プログラム

10週間実習を行い、**現地で修得した単位が認定**されます。

プログラム内容

渡 航 先: タイ (カンペンセン、ホアヒンなど)
 渡航期間: 9月～12月
 対 象: 獣医学類5年生 (渡航時)
 定 員: 5名
 費 用: 約50万円 (航空券代、滞在費、予防接種代、海外旅行保険代 等込)
 応募締切: 2月13日 (2026年度派遣)
 選 考 日: 2月16日 (2026年度派遣)
 提出書類: 申請書、誓約書、推薦書、TOEICスコア
 日本学生支援機構(JASSO)より、**奨学金の給付**があります(月9万円×3か月、合計27万円)。
 ※給付には条件がありますので、詳細はお問い合わせください



カセサート大学



1943年創立の国立大学で、学生数は約70,000人。タイで最初の農業大学で、最も規模の大きい大学のひとつ。



体験談 2025年度派遣 獣医学群 獣医学類6年 まつい みずき 松井 瑞嬉さん

養豚・養殖の飼養管理、様々な野生動物・エキゾチック動物の診療など日本では学ぶことができない獣医療を学ぶことができました。日本人の学生と共に英語で獣医学を学び、議論するとても貴重な機会でもあります。日本でも英語を身近に置く習慣をつける必要性を強く感じました。また、卒業後も様々な国で獣医学を学ぶことを大切にしたいと改めて感じた留学でした。将来海外で獣医師として働きたい、海外での学びを大事にしたいと少しでも思っている方は是非この留学に参加してみてください!

獣医学部短期研修プログラム

気軽に参加できる2週間のプログラムです。

※5年生は学外実習等の単位を認定予定(1単位)

プログラム内容

渡 航 先: タイ (カンペンセン、バンケンなど)
 渡航期間: 8月下旬～9月
 対 象: 獣医学類の3～5年生 (渡航時)
 定 員: 5名
 費 用: 約30万円 (航空券代、滞在費、予防接種代、海外旅行保険代、等込)
 応募締切: 4月17日 (2026年度)
 選 考 日: 5月上旬 (2026年度)
 提出書類: 申請書、誓約書、推薦書、TOEICスコア

体験談 2025年度派遣 獣医学群 獣医学類6年 ひだか けんた 日高 健太さん

私たちは2週間、タイのカセサート大学で牧場実習、馬およびエキゾチックアニマル診療、病理診断実験、伴侶動物病院の見学、水産業の実習を経験しました。タイの獣医療や農水産業事情について、日本との違いを考えながら学ぶ良い機会となりました。実習中は私の拙い英語でも、KUの先生方や学生に親切に対応していただきました。また夜の露店や観光地もタイの友人と巡り、以前RGUで知り合った友人とも再会できました。互いに助け合い語り合った時間は、私にとってかけがえのないものとなりました。

September | 9月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
	(前学期集中授業期間) (夏季休業期間)					
6	7	8	9	10	11	12
				後学期履修登録変更期間		
13	14	15	16	17	18	19
				前学期学位記授与式 大学院後学期入学式		
20	21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24	25	26
27	28	29	30			
	後学期授業開始 授業実施日					



「だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは、明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である。」(マタイによる福音書 6 : 34)
 "So do not worry about tomorrow, for tomorrow will bring worries of its own. Today's trouble is enough for today." (Matthew 6:34)



[Goal 9] Industry, Innovation and Infrastructure

「産業と技術革新の基盤をつくろう」

Build resilient infrastructure, promote inclusive and sustainable

industrialization and foster innovation

強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

海外農業研修・ インターンシップ

本学の協定機関を通じて紹介する留学研修プログラムのほか、北海道内外の団体が海外農業研修の参加者を募集しています。団体によって、派遣国や研修可能な業種が異なりますので、ウェブサイトや学内で開催する説明会をよく確認し、自分の希望と一致するものを探しましょう。各団体の説明会は、日時が確定し次第学内掲示とUNIPAでお知らせします。

公益財団法人 北海道農業公社

<http://www.adhokkaido.or.jp/ninaite/dispatch/>

派遣国：ニュージーランド、オランダ、デンマーク、アメリカ、カナダ

期間：3～12か月

業種：酪農、肉牛、養豚、野菜、園芸など



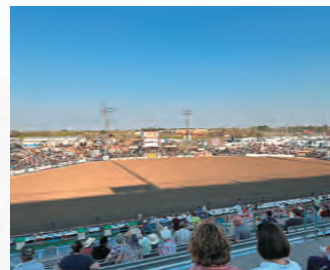
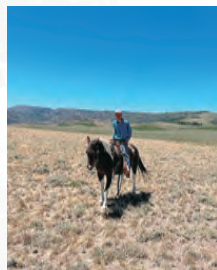
公益社団法人 国際農業者交流協会 (JAEC)

<https://www.jaec.org/index.htm>

派遣国：アメリカ、デンマーク、ドイツ、スイス、オランダ、オーストラリア

期間：18か月(アメリカ) / 12か月(ヨーロッパ)

業種：酪農、肉牛、養豚、野菜、果樹、複合(耕畜連携経営)など



体験談 国際農業者交流協会 (JAEC) 2024年度アメリカ派遣 酪農学研究科 修士1年 ^{くぼた} ^{しょう} 久保田 匠さん

私は2024年6月から2025年12月までの約1年半、アメリカ・アイダホ州の肉牛牧場で農業研修に参加しました。日本では触れられないスケールの大きさや、昔ながらのウエスタン文化に浸かりながら過ごす毎日は、本当に刺激的でした。どんなに拙い英語でも「話そうとする姿勢」があれば、相手はしっかり理解しようとしてくれます。だからこそ、勇気を出して自分から話しかけることで、仕事のコツや牧場の文化をより深く知ることができました。アメリカの広大な土地をどのように管理し、どんな考え方で牛たちと向き合っているのか？ そうしたことを、机の上ではなく“現場そのもの”で自分自身で経験しながら学べるのがこの研修の大きな魅力です。海外で長期間生活する大変さは確かにありますが、それを上回る価値ある経験、技術、考え方が必ず身に付きます。少しでも興味がある方は、ぜひ話だけでも聞いてみてください。きっと新しい視点や可能性が広がると思います。

October | 10月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 スポーツの日 授業実施日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
						TOEIC-IP 試験 (会場)
25	26	27	28	29	30	31



「一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。」(ヨハネによる福音書 12:24)

“... unless a grain of wheat falls into the earth and dies, it remains just a single grain, but if it dies it bears much fruit.” (John 12:24)



[Goal 10] Reduced Inequalities [人や国の不平等をなくそう]
Reduce inequality within and among countries
国内および国家間の格差を是正する



[Goal 11] Sustainable Cities and Communities [住み続けられるまちづくりを]
Make cities and human settlements inclusive, safe, resilient and sustainable
都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靭かつ持続可能にする

協定機関が実施するプログラム



カナダ・アルバータ大学
英語研修

<https://www.ualberta.ca/en/admissions-programs/visiting-student-and-internship-programs/international-visiting-student-program/index.html>

カナダ屈指の名門、アルバータ大学は、世界の大学ランキングで常にトップ100に名を連ねる総合研究大学です。「IVSP」は、正規の学部授業を履修し、学術的な英語力（EAP）と異文化理解を深める長期留学プログラム。カナダの大学生生活と学習環境を丸ごと体験し、卒業後のキャリアに繋がる国際的なアカデミック経験を得る最高の機会です。

開始月：1, 5, 9月

1ターム：4か月

授業料：CAD14,450/ターム（諸費用除く）



※プログラムの詳細は社会連携課にお問合せください。



体験談 カナダ・アルバータ大学英語研修 2023年度派遣 農食環境学群 食と健康学類 2024年度卒業 **たかはし しほ**
高橋 志穂さん

8か月間の滞在で、前半の秋タームは英語のみを、後半の冬タームはアカデミッククラスを2教科とりました。留学前に英語の勉強をあまりできずに行ってしまうと全然英語で話せなく悔しい思いをたくさんしましたが、伝えたい気持ちがあればなんとかなり、現地の友達ができたり休日にはロッキーに行く日があったりと充実した日々を過ごしました。大変なことも多くありましたが、それ以上にたくさんさんの経験をできたと思います。英語の先生によく言われた「Don't be afraid!!」精神でこれからも過ごします。

November | 11月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1	2	3 文化の日 授業実施日	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23 勤労感謝の日 授業実施日	24	25	26	27	28
29	30					



「心配は人をうなだれさせる。親切な言葉は人を喜ばせる。」(箴言 12:25)

"Anxiety weighs down the human heart, but a good word cheers it up." (Proverbs 12:25)



[Goal 12] Responsible Consumption and Production 「つくる責任 つかう責任」
Ensure sustainable consumption and production patterns
持続可能な消費と生産のパターンを確保する



[Goal 13] Climate Action 「気候変動に具体的な対策を」
Take urgent action to combat climate change and its impacts
気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

JICA海外協力隊

本学からJICA海外協力隊に参加した人数は約290名で、派遣国はアフリカ、中南米、アジア、中近東など、開発途上国と分類される国々です。本学出身の派遣者の多くは、獣医衛生、家畜飼育などの職種で活躍しています。最近では、環境教育での派遣人数が増加しています。JICA海外協力隊の募集は、年2回(春、秋)行われます。

本学卒業生の主な協力隊派遣実績 (2025年12月現在)

職種	派遣人数
獣医・衛生	97
家畜飼育	75
環境教育	22
野菜栽培	13
理科教育	11
コミュニティ開発	11
畜産・乳製品加工	13
飼料作物	6
農業協同組合	5
食用作物・稲作栽培	4
食品加工	4

他にも、様々な職種での派遣実績があります。



体験談 2024年派遣 農食環境学群 循環農学類 2023年度卒業 ささもり けいすけ 篠森 圭介さん

セネガル第二の都市ティエスの近くに私の任地であるモンロラン村が位置しています。一大園芸地帯であるこの地区の野菜はセネガルの多くの需要を占めています。セネガルは乾燥、サバナ気候のため全土で野菜が十分に取れるわけではありません。そのためこの地区はセネガルの野菜市場の生命線となっています。私の活動は主に二つで、職業訓練校での農業指導知識の向上と、周辺農家の収量の改善です。現在の課題として肥料があげられます。化学肥料にかけられる充分なお金がないため牛糞等のたい肥が肝になってきます。しかしこれらは未完熟のたい肥のまま施肥されることが多い現状です。そうなると当然圃場中での分解が起こり、窒素が消費されていき窒素欠乏が起こります。それらを防ぐために完熟たい肥の正しい作り方を普及しています。地域農家の安定した生計とセネガルの食糧供給を支える基盤となるため、日々試行錯誤しています。

December | 12月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
			前学期チューター募集開始 (1月17日まで)			
20	21	22	23	24	25	26
				年内最終授業日	冬季休業期間	
27	28	29	30	31		
					(1月7日まで)	



「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる」。この名は、『神は我々と共におられる』という意味である。
(マタイによる福音書 1:23)

“Look, the virgin shall become pregnant and give birth to a son, and they shall name him Emmanuel,” which means, ‘God is with us.’”
(Matthew 1:23)



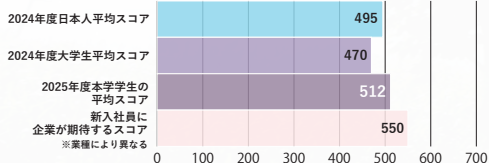
[Goal 14] Life Below Water [海の豊かさを守ろう]

Conserve and sustainably use the oceans, seas and marine resources for sustainable development

海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する

TOEICを受けよう!

TOEICは英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。世界160カ国、年間約700万人が受験しています。留学のため、就職活動のため、在学中に一度は受けておきましょう! 2026年度は、5回の**TOEIC - IP (Institutional Program) テストを学内で開催**します。結果返却日と、希望するプログラムの応募締切日とをよく確認して受験しましょう。



※本学学生の平均スコアは獣医学群1年生授業内TOEICのスコアを除く本学学生の平均スコアは512。全国平均と比べても、見劣りしないスコアです。TOEICスコアを重視する企業は増加しています。また、教員採用試験や自治体職員などにおいても採用する都道府県が増えています。目標を高めに持ち、ぜひチャレンジしてみましょう。

★英語力をはかるテストとしては、TOEFL、IELTSなどもあります。進路に合わせて、よく調べてから受験しましょう。

2026年度実施スケジュール

■ ⇒会場試験 ■ ⇒オンライン試験

試験日	申込締切	結果返却日
2026年4月18日(土)	2026年4月17日(金)	2026年5月8日(金)
2026年7月11日(土)	2026年7月10日(金)	2026年7月24日(金)
2026年10月24日(土)	2026年10月23日(金)	2026年11月6日(金)
2027年1月9日(土)~1月16日(土)	2026年12月18日(金)	受験翌日午前10時~2月28日(日)
2027年2月20日(土)~2月27日(土)	2027年2月5日(金)	受験翌日午前10時~3月31日(水)

- ◆対象者：本学学生および教職員
- ◆受験料：4,230円
- ※受験料は社会連携課の支援により**2026年度は2,000円が助成されます(年度内に1人1回)**。支援対象は本学学生(研究生、科目等履修生は除く)のみです。支援措置は当初予算が払底次第終了します。
- ◆申込方法：【会場受験】受験申込書に必要事項を記入し、受験料を添えて、申込締切までに酪農学園図書館へ申込(随時受付)
【オンライン受験】募集時期に社会連携課から配信される申込フォームに入力の上送信
支払は受験料納付書に教務課窓口前の販売機で購入した証紙を貼付し、必要事項を記入して社会連携課に提出

January | 1月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
					1 元日	2
				(冬季休業期間)		
3	4	5	6	7	8	9
					授業再開	TOEIC-IP試験 (オンライン)
10	11 成人の日	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
前学期チューター募集締切						
24	25	26	27	28	29	30
			後学期授業終了	後学期定期試験期間		
31	(2月3日まで)	 <p>「敵を愛し、あなたがたを憎む者に親切にしてください。悪口を言う者に祝福を祈り、あなたがたを侮辱する者のために祈りなさい。」(ルカによる福音書6:27-28) "... Love your enemies; do good to those who hate you; bless those who curse you; pray for those who mistreat you." (Luke 6:27-28)</p>				



[Goal 15] Life on Land 「陸の豊かさを守る」

Protect, restore and promote sustainable use of terrestrial ecosystems, sustainably manage forests, combat desertification, and halt and

reverse land degradation and halt biodiversity loss

陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

参考情報 | 酪農学園大学の英文表記

酪農学園大学

農食環境学群

College of Agriculture, Food and Environment Sciences

● 循環農学類

Department of Sustainable Agriculture

● 食と健康学類

Department of Food Science and Human Wellness

● 環境共生学類

Department of Environmental Sciences

● 農環境情報学類

Department of Agricultural and Environmental Information Sciences

獣医学群

School of Veterinary Medicine

● 獣医学類

Department of Veterinary Medicine

● 獣医保健看護学類

Department of Veterinary Science

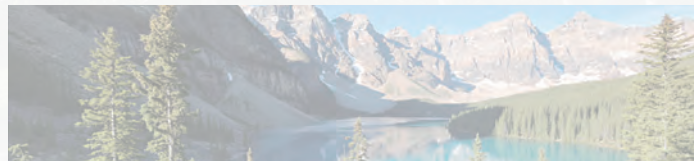
酪農学園大学大学院

酪農学研究科 Graduate School of Dairy Science

- 酪農学専攻修士課程
Dairy Science Master's Course
- フードシステム専攻修士課程 (2026年度募集停止)
Food Systems Master's Course
- 食生産利用科学専攻博士課程
Food Production and Utility Development Doctoral Course
- 食品栄養科学専攻修士課程
Food and Nutrition Science Master's Course
- 食品栄養科学専攻博士課程
Food and Nutrition Science Doctoral Course

獣医学研究科 Graduate School of Veterinary Medicine

- 獣医学専攻博士課程
Veterinary Medicine Doctoral Course
- 獣医保健看護学専攻修士課程
Veterinary Science Master's Course



February | 2月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
(後学期定期試験期間)						
7	8	9	10	11 建国記念の日	12	13
					後学期集中授業期間 (休日を除く)	
14	15	16	17	18	19	20
						TOEIC-IP試験 (オンライン)
21	22	23 天皇誕生日	24	25	26	27
			後学期成績閲覧開始			
28						



「何事も愛をもって行いなさい。」(コリントの信徒への手紙 — 16:14)
 "Let all that you do be done in love." (1 Corinthians 16:14)



[Goal 16] Peace, Justice and Strong Institutions [平和と公正をすべての人に]
 Promote peaceful and inclusive societies for sustainable development, provide access to justice for all and build effective, accountable and

inclusive institutions at all levels
 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを
 提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

学術交流協定機関一覧 24カ国45機関 (2026年4月現在)

国名	機関名	締結日
アジア地域 (13カ国29機関)		
1 インド	サムヒギンボトム農業科学技術大学 Sam Higginbottom University of Agriculture, Technology and Sciences	2007.10.25
2 インドネシア	ジャンバル大学 University of Jember	締結手続中
3 カザフスタン	国立バイオテクノロジセンター National Center for Biotechnology アルファラピカザフスタン国立大学 Al-Farabi Kazakh National University	2009.12.25 2009.12.26
4 韓国	国立韓京大学 Hankyong National University	1994.10.14
5 タイ	マヒドン大学 Mahidol University 熱帯医学部 Faculty of Tropical Medicine (2013. 9.23) 獣医学部 Faculty of Veterinary Science (2015.11.25)	2013. 9.23
	チュラーロンコーン大学 Chulalongkorn University	2014. 2.28
	カセサート大学 Kasetsart University	2014. 3. 3
	保健省医科学局 Department of Medical Sciences, Ministry of Public Health	2015. 3.25
	コンケン大学 Khon Kaen University	2015. 4.28
	タマサート大学 Thammasat University	2016. 3.22
6 台湾	プリンス・オブ・ソンクラーク大学 Prince of Songkla University	2025. 1.14
	国立嘉義大学 National Chiayi University	1997.11.30
	国立屏東科技大学 National Pingtung University of Science and Technology	1998. 8.31
7 中国	国立中興大学 National Chung Hsing University	2007. 8.15
	内モン農業大学 Inner Mongolia Agricultural University	1988. 8. 9
	新疆農業大学 Xinjiang Agricultural University	1997. 7.31
	内モン古民族大学 Inner Mongolia Minzu University	2002. 2.16
	陝西省動物研究所 Shaanxi Institute of Zoology	2012. 1.20
8 フィリピン	東フィリピン大学 University of Eastern Philippines	2002. 2. 4
9 ベトナム	ハノイ公衆衛生大学 Hanoi University of Public Health	2013. 9.27
	ベトナム国立農業大学 Vietnam National University of Agriculture	2014. 7.29
	国立獣医学研究所 The National Institute of Veterinary Research	2019. 1.28
10 マレーシア	サバ大学 Universiti Malaysia Sabah	2011. 8.24
11 ミャンマー	獣医学部 Faculty of Veterinary Science, Yezin, Nay Pyi Taw	2013.10. 7
12 モンゴル	モンゴル生命科学大学 Mongolian University of Life Sciences	2009. 3.23
	フスタイ国立公園 Hustai National Park Trust	2012. 8.18
	モンゴル国立大学 National University of Mongolia	2021. 2.25
13 ロシア	極東農業大学 Far Eastern State Agrarian University	2014. 6.16

国名	機関名	締結日
北米地域 (2カ国7機関)		
14 アメリカ	オハイオ州立大学 The Ohio State University 獣医学部 College of Veterinary Medicine (1988.11.17) 食品・農業・環境科学部 College of Food, Agricultural, and Environmental Sciences (1998.12.17)	1988.11.17
	コーネル大学畜産学部 Department of Animal Science, Cornell University	1991. 6. 3
	フィンドレー大学 The University of Findlay	2005. 4.11
	パデュー大学 Purdue University	2019. 1.29
15 カナダ	アルバータ大学 University of Alberta	1985. 8. 1
	オールズカレッジ Olds College	1998. 5. 7
	サスカチュワン大学 University of Saskatchewan	2006. 7.24
欧州地域 (5カ国5機関)		
16 イギリス	グラスゴー大学生物多様性・家畜衛生・比較医学研究所 Institute of Biodiversity, Animal Health & Comparative Medicine, University of Glasgow	2015. 2.24
17 イタリア	パドヴァ大学 University of Padua	2020. 7.23
18 デンマーク	国立畜産研究所 National Institute of Animal Sciences	1995. 2.15
19 ドイツ	ハノーバー獣医科大学 University of Veterinary Medicine Hannover	2001. 1.22
20 ポーランド	ワルシャワ生命科学大学 Warsaw University of Life Sciences	1994. 5.19
アフリカ地域 (3カ国3機関)		
21 ウガンダ	マケレレ大学 Makerere University	2019. 3.29
22 ケニア	国際家畜研究所 International Livestock Research Institute	2012. 2.17
23 コートジボワール	スイス科学研究所 Centre Suisse de Recherches Scientifiques en Côte d'Ivoire	2013. 4.18
南米地域 (1カ国1機関)		
24 パラグアイ	アスンシオンカトリック大学 Catholic University of Asunción	2011. 2.22

海外招聘研究者

本学における国際学術研究交流を推進し、研究教育の充実発展を図るため、学術交流協定を締結している海外の大学・研究所から研究者を招聘しています。本学での研究期間中、特別講義などを行うこともあります。ぜひ参加してみてください。

写真は2025年度の招聘研究者、カザフスタンのオテボヴァ先生です。



March | 3月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21 春分の日	22 振替休日	23	24	25	26 学位記授与式	27
28	29	30	31			



「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」(テサロニケの信徒への手紙 一 5:16-18)
 "Rejoice always, pray without ceasing, give thanks in all circumstances; ..." (1 Thessalonians 5:16-18)



[Goal 17] Partnerships for the Goals 「パートナーシップで目標を達成しよう」
 Strengthen the means of implementation and revitalize the Global Partnership for Sustainable Development

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

海外渡航における注意喚起

海外渡航中に、トラブルや危機に遭遇してしまった場合、言語や文化などの違いからその解決方法の多くは国内でのそれとは異なります。トラブルの多くは事前の準備を行うことで防ぐことができます。海外での研修へ参加する皆さんは、安全対策の「意識」と「知識」を渡航前に十分に身につけるとともに、必要な手続きの準備をお願いします。

また、各自で渡航前の準備を入念に行い、渡航先では危機管理意識をもって行動してください。

皆さんが下記の案内をよく読み、安全で実りある研修が行われることを期待します。

□ 渡航先国/地域について調べましょう

外務省の「海外安全ホームページ」には、国別の犯罪・事件・テロなどの危険情報や、感染症流行状況・予防接種の要否などが掲載されています。また各国の「日本大使館のページ」には、より詳しく滞在先国の注意について掲載されています。必ず下記へアクセスし、それぞれの渡航先で特に気をつけるべきことは何か、十分に把握してください。

参考

海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>



※本学では日本外務省の危険レベルおよび感染症危険レベル2以上の国地域への渡航を原則禁止しています。(2026年3月現在)

安全対策編

□ 常に用心を怠らない

- 人通りの少ない場所、夜間の一人歩きは避ける。
- 人混みの中では荷物から目を離さない。荷物の口は常に閉める。
- 部屋の中でも貴重品・現金などを出しっぱなしにしない。
- 歴史・人種・宗教などの話題について、軽率な発言は避ける。
- 滞在先の文化を尊重し、法律や宗教的習慣、伝統、行動規範に従う。
- フォーマルな場所以外では目立つ服装、華美な服装を避ける。
- パスポートは常に携帯し、コピーや顔写真を用意しておく。
- 最寄りの日本大使館・領事館の場所を確認しておく。
- 滞在先での電話の使い方を確認しておく。
- 見知らぬ人からモノなどを預からない。



「たびレジ」に登録を！

3か月以上海外に滞在する日本人は、渡航先の大統領館、領事館へ在留届を提出することがルールとなっていますが、外務省では危機管理対策強化のため、渡航期間3か月未満の渡航者についても、「たびレジ」への登録を推奨しています。登録することで、在外公館から発出される危機管理情報が登録したメールアドレス(本人、家族など)に緊急一斉通報、最新海外安全情報メールなどが提供されます。

まずは以下のウェブサイトをご一読いただき、海外渡航に際しては、本学の学生は「たびレジ」へ必ず登録してください。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp>



海外渡航における注意喚起

感染症対策編

□ 渡航中に注意すべきこと

海外では、日本にはない病気がたくさんあります。時差や気候の違いなどから、(自覚していなくても)さまざまなストレスを受けます。この結果、免疫力が低下し、病気にかかりやすくなってしまいます。一生治療を続けなければならない病気もあります。無理のないスケジュールを心がけ、避けられる危険を避け、充実した留学生活にしましょう。

- 生水・氷・カットフルーツの入ったものを食べることは避けましょう。
- 食事は十分に火の通った信頼できるものを食べましょう。
- 蚊・ダニに刺されないように、服装に注意し、必要があれば虫よけ剤を使うなどしましょう。
- 動物は狂犬病、MERSや鳥インフルエンザなどのウイルスをもっていることがあるので、むやみに触らないようにしましょう。
- 薬物やゆきずりの性交渉による感染症で、一生の後悔をすることのない行動をとりましょう。
- 研修参加に必要な予防接種は必ず受けましょう。

● 厚生労働省検疫所
<https://www.forth.go.jp/index.html>

● 国立感染症研究所 感染症疫学センター
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

参考になる
ウェブサイト



□ 体調管理



- バランスの良い食事をとるよう心がけること。
- 適度に体を動かすこと。
- 十分な睡眠・休養をとること。
- うがい、手洗いを慣行のこと。
- **新型コロナウイルス**
熱が続いたり上気道症状を引き起こすウイルス。
予防 ▶ 石けんやアルコール消毒液などによる手洗い、咳エチケットを行い、公共交通機関や人混みを避ける。症状が疑わしい時は病院へ行かず、まずは保健所に相談すること。
- 食中毒・感染性胃腸炎・コレラ・赤痢など
飲食物から感染。とくに熱帯・亜熱帯地域、衛生環境の不十分な地域では注意。
予防 ▶ 生ものや加熱されていないもの、調理してから時間が経ったと思われるもの、生水、氷を口にしないこと。
- マラリア・ウェストナイル熱
蚊を媒介として感染。アフリカを始めとして世界中に広く分布している。
予防 ▶ 防虫(虫除けスプレー、皮膚を露出しないなど)。
- 狂犬病
動物(主に犬)にかまれることで感染する。南極を除くすべての大陸で感染が確認。発症後の死亡率はほぼ100%で、確立した治療法はない。
予防 ▶ 狂犬病が発生している国ではむやみに動物に近寄らない、触れないこと。動物にかまれた場合はすぐに石鹸で手を洗い、消毒した上で病院へ。
- 破傷風
土壌や動物との接触により感染。
予防 ▶ 初年度2回、翌年1回、無料でワクチン接種が受けられる。(予定)
※7月ごろに医務室よりUNIPAにて接種申込案内を配信(接種時期は10月~11月ごろ)

お問い合わせ・相談は
共創コミュニケーションセンター社会連携課まで!



お問い合わせ TEL 011-388-4132
〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地
酪農学園本館1階 共創コミュニケーションセンター社会連携課
email: rg-iad@rakuno.ac.jp

